

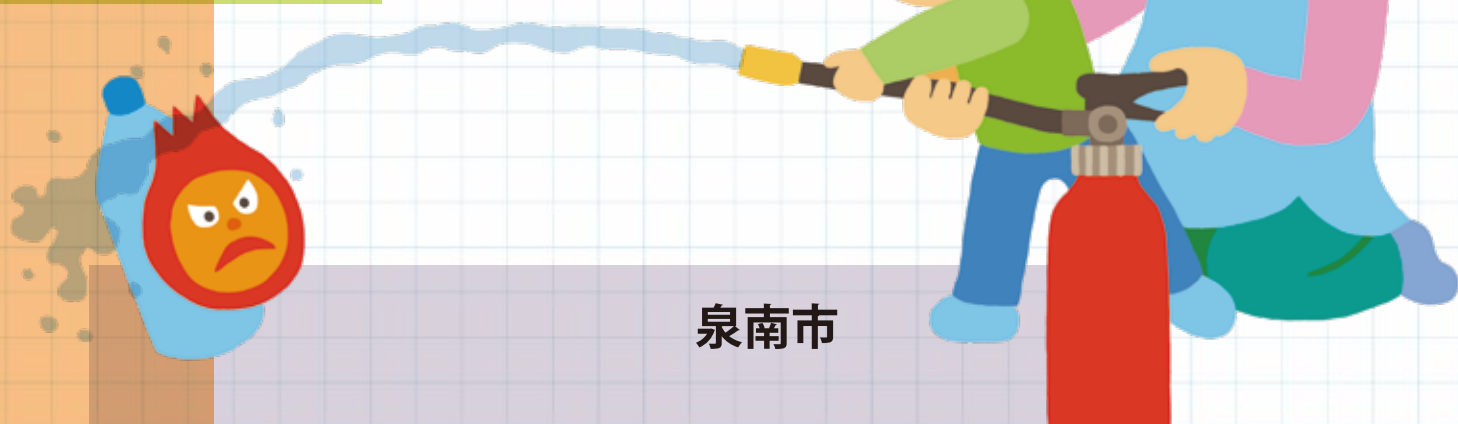
女と男がともに生きる未来へ

vol.

29

step

災害はいつ起こるかわからない。
だからいっしょに考えよう。



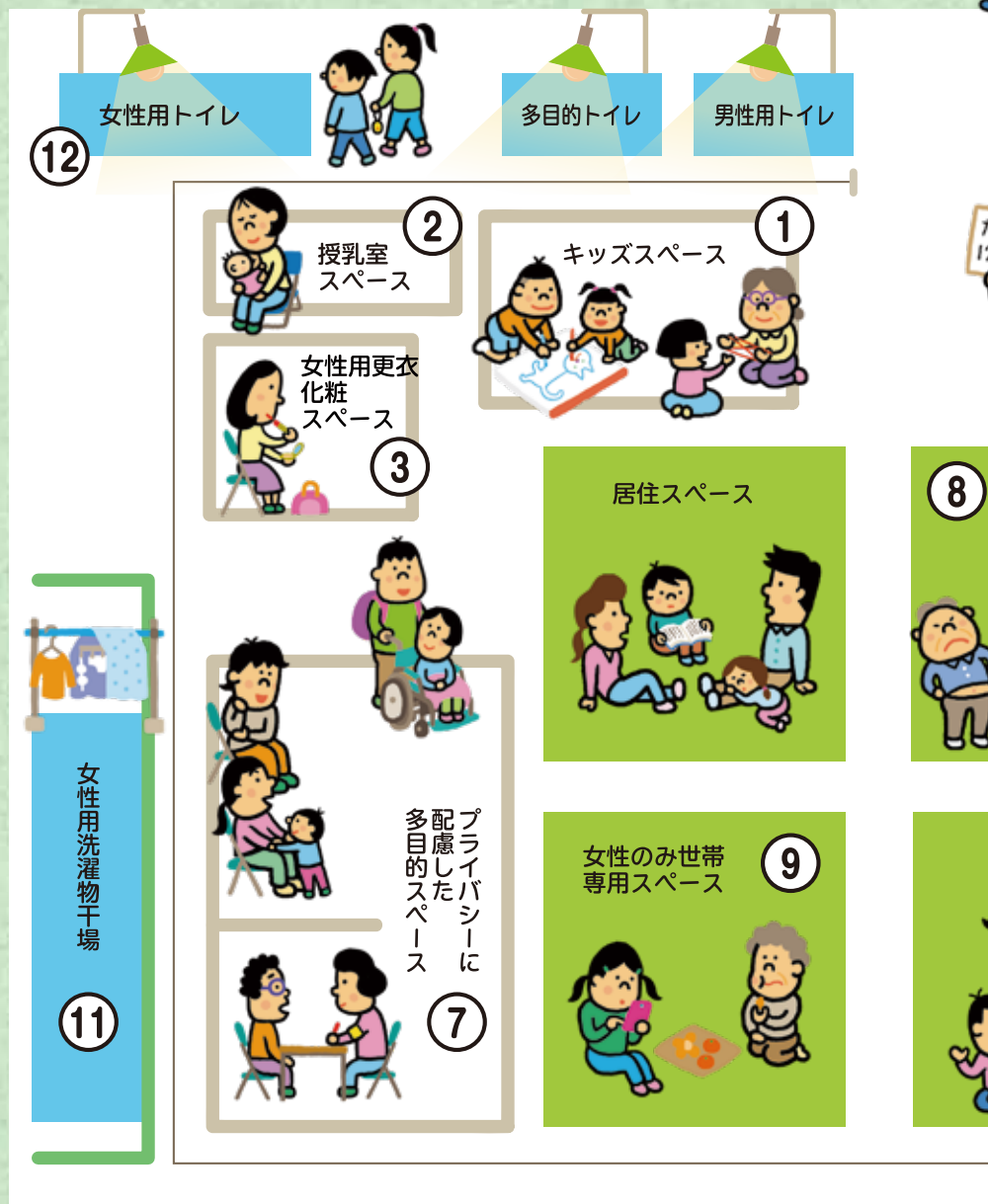
泉南市

こんなふうに
解決！

いざという時に、あなたは。

災害が起きて自宅で暮らせなくなったとしたら… あなたは考えてみたことがありますか？
災害時の避難所には、様々な状況の人がいます。
みんなが不安な気持ちでいる災害時に、より一層不安を抱える人のことにも
思いをめぐらせて理想的な避難所について考えてみましょう。

- 1 赤ちゃんが泣くと室内にいられない
 - 2 2歳の子どもがぐずるのが心配
 - 3 授乳する場所はあるのかしら
 - 着替えをする場所はあるの？
- 子どもは環境の変化に敏感、遊ぶ場所も大切です。授乳や着替えには人目をさえぎる場所が必要です。
- 10 ペットは家族と一緒にだから…
 - 11 洗濯した下着はどこに干せばいいの
 - 12 暗いなか屋外のトイレに行くのは怖い
- 過去の災害では避難所での性暴力被害が報告されています。屋外施設にも安心が必要です。
- 13 炊き出しは女性だけの仕事？
- 役割の固定化の解消や避難所運営に多様な意見が反映される取組が必要です。



だれもが安心して 過ごせる避難所に するために。

～多様な人がいることに気づく～

被災者の状況は次のような様々な要素の組み合わせによって一人ひとり異なります。災害時の支援には、多様な人々のニーズを理解しようとする姿勢が必要です。

本人の属性

性別
年齢
職業の有無
障害の有無
持病の有無
SOGI※
母語 など

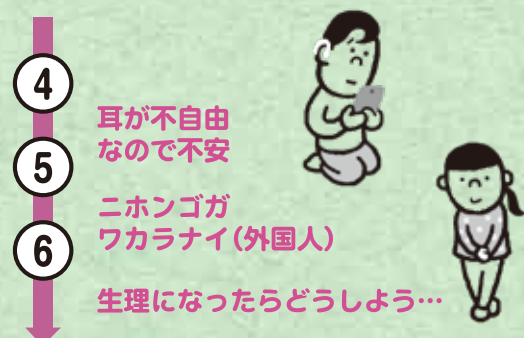
生活状況など

家族構成
家族との関係
子育てや介護を担っているか
健康状態
支援の必要性の程度
経済状態 など



本人の属性だけでなく、本人を取り巻く状況など様々な角度から見る視点が必要です。また個人的な要因で起こっているように見える困難も様々な背景が影響していることも少なくありません。

※SOGI：性的指向（好きになる性）、性自認（心の性）それぞれの英訳のアルファベットの頭文字を取った言葉で、誰もが持つ「人の性にまつわる属性」を表します。



■情報伝達にハンディのある人にもきちんと伝わるような工夫を。生理用品などの受け取りに女性が抵抗を感じないように配慮も求められます。



■健康に不安のある人は災害時に体調が悪化しがち。安静にできる場所や心配ごとを相談できることが必要です。

日頃からできること。

家庭内で食品や日用品を備蓄したり防災用品を備えたりするほかにも、いざという時のためにできることを考えましょう。

●一人ひとりができること

- ・地域の防災訓練に参加する
- ・地域の活動に参加して顔見知りになる
- ・家族で連絡方法を決めておく

●地域でできること

- ・ふだんから地域の会議で男女双方が意見を出しやすいように取り組む
- ・地域で支援の必要な人について情報を共有しておく
- ・避難所運営のシミュレーションゲームなどを地域で実践する
- ・「避難所チェックシート」※などを活用する
- ・避難所運営の責任者に男女両方を配置する

泉南市防災アプリ

災害時の情報をまとめて確認できるアプリができました。

- 防災無線の内容を自動でお知らせ
- 平時でも防災情報を確認できる
- 避難情報発令時には緊急モードに！



アプリのインストールはこちらから↓



Google Play

App Store

3月11日と9月1日は「せんなん家族防災の日」

日頃から家族で防災についての話し合う時間をつくりましょう。

くわしくは
こちらから→



せんなん防災トピックス

※防災教育チャレンジプラン

社会全体の防災力向上に向けて防災教育活動の推進を図るために産学官の実行委員会により展開されています。

「楽しみながら、防災を！」～地域に見守られながら、地域を元気にする～

西信達中学校「みんなでたすかる～つながる防災プロジェクトN～」

2019年度から「防災教育」に取り組む西信達中学校。地域のつながりが強い土地柄で校区の西側は大阪湾に面しています。全国的に災害が多発するなかで他人事ではないという危機感がきっかけでした。中学生を中心に学校と地域、行政も巻き込んだプロジェクトが、2023年度防災教育チャレンジプラン優秀賞に輝きました。

「防災」は楽しい！

「生徒たちのなかに『防災』は私たちが！」という気持ちを年ごとに強く感じています」と話す猪子洋子先生はプロジェクトを推進しました。校外学習で堺市防災センターに行ったり、レクリエーションで避難所設営を体験したりしたことが、楽しく「防災」を考えることにつながっています。

各教科の単元と「防災」のテーマとがつながり、体験し学んだことが教科の学びにも活かされています。

「正解」を教えるのではなく、生徒たち自身が見つける「答え」

「西信達ふれあいフェスタ」での発表を目標に取り組んだ「防災ゼミ」は、生徒が自らテーマを選び、話し合いながら実践的な学習を進めました。多くの大人たちから「中学生が頑張ってくれて安心」「地域のためにありがとう」などの声をかけられて、地域の役に立つ喜びや自信を得ることができました。生徒たちは、家庭でも「防災」を話題にすることが増えて、保護者の関心も高まっているそうです。

「教科学習のなかに『防災』を取り入れたことで各先生の得意分野を活かしたし、発表の場があったことで生徒たちの成長ぶりを見ることができた。これからも『西信達ふれあいフェスタ』を目標に続けていきたい」と話す岩崎誠校長は、「女性や障害者、外国人など様々な人が集まる避難所で、子どもたちが自他の生命を尊重し、地域の一員として参画できるよう保護者や地域の皆さまにお力添えを賜りながら今後も取組を継続していきたい」と結んでくださいました。

危機管理課と連携して避難所設営と運営を体験した生徒たち

【防災ゼミの主な活動】 防災×教科

国語

防災子ども記者クラブ

スローガン: 伝えて届けて広げていく

取組内容: ニュースぼうさい『みらい』新聞の創刊

保健体育

助ける助かるつながる

スローガン: どんな人でも安心できる防災に！

取組内容: 身の回りにある物で緊急時の応急処置、エコノミー症候群予防体操

理科・支援

防災ユニバーサル

スローガン: 心を広く助け合う

取組内容: 災害弱者が不安なく助かるための支援

技術・家庭

災害時の食と生活環境

スローガン: いつでもどこでも俺らが食べさせる☆

取組内容: 高齢者、アレルギー、小中学生、乳児の視点で災害時のレシピづくり



生徒たちが運営する数々のブース



相談窓口

ひとりで悩まず相談してください。秘密は守られます。

●女性相談

女性カウンセラーがあなたの立場になってサポートします。

せんなん男女平等参画ルーム相談室

第1金曜日／13:00～17:00、第2火曜日／16:00～20:00、第4金曜日／10:00～12:00、13:00～15:00

※要電話予約。都合の良い日を申し込んでください。

TEL 072-480-2855(人権推進課)

●女性のための電話相談

女性相談員が電話でお聴きいたします。

せんなん男女平等参画ルーム相談室

毎週木曜日(祝日と第5木曜日を除く) 10:00～12:00、13:00～15:00

TEL 072-482-0590

●人権相談

日常生活で起こりうる人権問題の解決に向けた手助けをします。

市民交流センター

月曜日～土曜日(祝日除く、土曜日は要予約)／9:00～17:30
(一社)泉南市人権協会
TEL 072-485-1401